

1 子どもを取り巻く環境の変化

社会状況

新型コロナウイルス感染症の拡大

成年年齢の見直し

デジタル技術の進展

子どもたちを取り巻く厳しい環境

生じている変化

●学校行事の減少や社会教育活動、体験機会の減少、マスク生活、地域とのつながり・コミュニケーションの希薄化

●選挙権、消費契約ができるように

●学習用に1人1台タブレットを導入、スマートフォンの普及

●いじめ、不登校、児童虐待、ヤングケアラー等の社会問題化

2 計画の体系

目標

目指すべき姿

取り組みの方向性

プラン

全ての子どもが心豊かに成長できることができる社会の実現 (1条)

1 家庭、学校及び地域社会における活動を通じて、人間性・社会性を育む (3条1項2号)

2 成長とともに高い規範意識、自尊心と他者を思いやる心を身に付ける (3条1項2号)

3 子どもの尊厳及び権利が守られ、子どもが健やかに成長することができる (3条)

・豊かな自然環境など、高知県の特性を十分に生かしながら、豊かな人間性を育む

・子ども一人一人が、自らの力を発揮しながら主体的に活動できる環境を整える

・すくすくと成長することができる社会環境・教育環境の醸成

・成長に応じ「規範意識」「自尊心」「思いやり」を身につけられる環境づくり

・子どもの権利が尊重されながら、安心して心豊かに成長できる

・子どもの健やかな成長を支える生活習慣を身に付ける

1 子どもが豊かな体験をするための支援

2 文化や芸術、スポーツ、自然に触れる機会や幅広い職業体験の機会づくり

3 子ども自身の自発的な活動を支援

4 子どもが公共の仕事や地域活動などに参加する機会づくり

5 自尊心や思いやりを育む土壌となる「安心できる居場所」づくり

6 社会とのつながりの中で多様な学びに取り組み、自立していける環境の整備

7 コミュニケーション力の向上を図る機会づくりの推進

8 子どもと大人の規範意識を高める取り組み

9 子どもの人権に関する理解の促進

10 児童虐待やいじめなどについて相談しやすい仕組みづくりの推進、予防、早期発見、早期対応、再発防止の強化

11 不登校対策などへの多方面からの取り組み

12 子どもの置かれた環境にかかわらず学び育つための支援

13 子どもの健やかな成長を支える生活習慣づくりの推進

県の施策・取り組みの具体化